

## SMFLみらい、再生エネ協業拡大

SMFLみらいパートナーズ（東京都千代田区、寺田達朗社長）は、市場価格連動型（F I P）制度下での再生可能エネルギー活用に向けた協業を拡大する。東芝エネルギーシステムズ（東芝E S S、川崎市幸区）、東芝ネクストクラブ（TNK、同）との協業に、サミットエナジー（東京都千代田区）が小売電気事業者として加わった。4社はF I P制度の活用を通じた実質100%再生可能エネルギー由来の電力供給を行う。

新たな協業の第1弾として、SMFLみらいがF I P制度で所有し、東芝E S SとTNKが計画値同時同量業務を担っている太陽光発電所「青柳ソーラーパークII」（福岡県古賀市）が発電した電力を東芝E S Sが全量買い取り、サミットエナジーに販売する。

サミットエナジーと連携



F I P制度を適用している青柳ソーラーパークII

サミットエナジーはこの電力と、トラッキング（追跡管理）付き非化石証書を付与した電力を合わせて、SMFLみらいなどが福岡市博多区に所有するオフィスビル「NEWNO・ザイマックス博多駅前」に供給する。これにより同ビルの使用電力の実質100%再生可能エネルギー化を実現する。